

備えあれば憂いなし

8/20
(日)

市総合防災訓練

午前8時に防災行政無線から
サイレンと緊急地震速報が流れます。

今年の重点項目

今年の重点項目には、昨年からの「安否確認」および「避難行動要支援者の支援」に「拠点避難所の運営」が新たに加わります。東日本大震災や熊本地震の教訓から、大規模災害では市役所そのものや市職員が被災することが想定されます。

今回の訓練では、市職員が避難所を運営できない事態を想定し、全10カ所の拠点避難所を地域住民の手で運営する訓練を行います。

また、市でも災害対策本部運営訓練などを実施します。

訓練想定

8月20日(日)午前8時ごろ、富樫断層を震源とするマグニチュード(M)7.0の地震(震度6弱)が発生。市内では、家屋の倒壊、火災の発生、水道施設の破損、道路・橋りょうの損壊、交通道路網の混乱があり、多数の負傷者が発生している。

市民の皆さんがとる行動

8:00
地震発生

防災行政無線によるサイレンおよび緊急地震速報が流れ、ほっとHOTメールが配信されます。
「じゃがむ・かくれる・じっとする」という一連の動きをした後、火の始末をします。

一時的避難場所へ避難・避難誘導
町内会で定められている、公園などのオープンスペースへ避難します。

重点項目
避難者の把握および安否確認訓練
一時的避難場所へ避難した人数を把握し、避難していない世帯で、所在不明の世帯を対象に安否を確認します。

拠点避難所へ集団避難
町内会ごとに定められている拠点避難所(小中学校、野々市明倫高校、石川県立大学、金沢工業大学)へ集団避難します。
※館野小学校は大規模改修工事のため、スポーツセンターへ避難

重点項目

拠点避難所の運営
防災士など地域の防災リーダーが中心となり避難所を運営します。避難所開設から運営までの行動手順を記載した「アクションカード」に基づき、地域住民が役割を分担し、協力し合います。

体験訓練

拠点避難所ごとに救急救命訓練や簡易ベッド組み立て訓練などを行います。



1. AEDの使い方を学ぶ救急救命訓練
2. 簡易ベッド組み立て訓練

終了・解散(11時ごろを予定)

第1回白山野々市川北

消防訓練大会

白山市・野々市市・川北町の消防団計29隊、約600人が訓練の成果を披露。その結果、野々市市消防団第2分団がポンプ車操法の部で優勝!県大会出場を決めました。県大会は7月29日(土)に県消防学校で開催されます。

消防団活動に尽力された方および分団への表彰も行われました。(敬称略)

【原知事表彰】

■銀盃を授与する表彰

宮前 一夫 田中 茂

【県消防協会長表彰】

■優良消防団

野々市市消防団第2分団

■功労章

小堀 要一

■功績章

石浦 隆

■勤続功労章

倉美佐 平浪 弘之

井高 孝志 松本 信孝

【白山野々市川北消防連合会長表彰】

■永年勤続表彰

小浦 隆造 内村 兼二 北野 淳

藤谷 貴寛 横浜 裕美子 藪下 真希子

■退職役員感謝状

宮川 美保子

震災復興支援のため

宮城県名取市へ

2011年3月11日に東北地方を襲った東日本大震災。市はいまだその爪痕が残る宮城県名取市閑上地区へ、復興支援のため職員を派遣します。

同地区は災害指定区域に指定され、現在も人が住めない状況が続いています。ライフラインの一つである下水道の開通に向けて、国との調整などを行い、まちの復興に携わります。

6月28日(水)、粟市長は辞令を交付し、「1日も早い復旧を目指し、名取市の皆さんに元気を届けてほしい」と激励。現地へ赴く南主査は「微力ながら精一杯頑張ります」と意気込みを語りました。



上下水道課
南 慎太郎